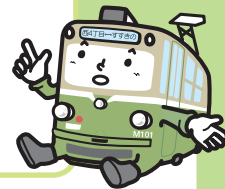




Q いろんな問題があるけど 存続させても大丈夫なの？



バス、路面電車などの民間事業者へ調査を行うなど、路面電車を存続させるための課題について、さまざまな検討を行ってきました。

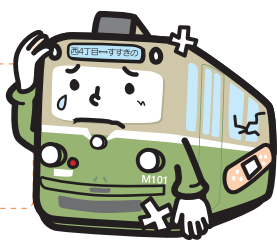
その結果、「車両、施設の更新」「経営の効率化」などの課題について、解決の方向性が見えてきました。

これまでの調査・検討結果

課題

車両、施設の更新

40年間使用した車両は老朽化が進み
早急な対応が必要となる



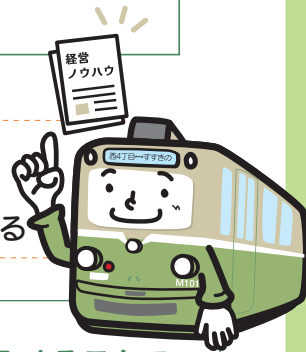
検討結果

当面の間、安全運行のための車両
改修で対応します。

課題

経営の効率化

料金収入では運行経費を
賄えず、赤字が発生している



検討結果

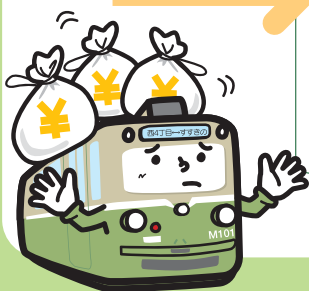
民間活力を導入することで、
経営効率の向上や収支改善
の可能性が見込めます。

(民間活力の導入とは、民間の経営手法や資金力を運営に生かしていくこと。一部業務の民間委託から設備投資への民間資金の活用などさまざまな手法があります)

課題

税金の投入

現在の経営が赤字の上、
路面電車を存続させるためには、
税金の投入が必要になる



検討結果

経営形態のあり方、料金のあり方などを考慮して、財政状況を見極めながら、最小限の税金の投入に抑えます。

課題

路線のループ化

現行の路線は限られた地域の
交通手段となっている。
また、路線がループ(環状)化
されていないことが運行効率を下げている

検討結果

多くの市民が路面電車の恩恵を受けるには、新たな路線を検討する必要があります。ループ化などにより、利便性の向上や運行の効率が上がる見込みがあります。

市長から



路面電車を存続することを決断しましたが、さらに解決しなければならないさまざまな課題があります。これからは2年をめぐりに詳細な検討を行い、改めて「これからの路面電車の姿」を発表します。

市では、学識経験者や市民などで構成する検討組織を設置し、路線のループ化など路面電車の活用策を検

討するとともに、市民の生の声も聞いていきます。また、一日乗車券の発売など利便性向上の施策も積極的に行っていきます。

市民の皆さんもぜひ路面電車に乗って、“路面電車が走る札幌のまちの未来”を考えていただき、これからの議論に参加していただだけませんか。よろしくお願いします。